

中田

加賀野小防災学習に 180 人



▲火災を想定した避難訓練では、煙を吸わないよう低い姿勢で避難

災害への対処方法を学ぶ

加賀野小学校(鈴木真喜夫校長)では2月3日に防災学習会を開催。同校の1、3年生と保護者ら約180人が参加しました。防災学習会は、みやぎ防災教育推進協力校事業の一環として実施されたものです。みやぎ災害救援ボランティアセンターの戸田和夫氏を講師に、災害への備え方や対処の仕方を学習。児童たちは、防災リュックに入れる物を話し合ったり、火災時の避難方法を学んだりしました。給食では乾パンを試食。初めて口にすると児童も多く、担任教諭が語る非常食に関する話に興味深く聞き入っていました。

迫

佐沼地区コミュニティでお祭り



▲ハンドマッサージを体験する来場者

大勢の来場者でにぎわう

佐沼地区コミュニティ推進協議会(尾形重雄会長)では2月22日、佐沼地区コミュニティ祭りを迫公民館で開催。子どもから高齢者まで約750人が参加しました。お祭りでは、舞踊やダンス、小学生を対象とした工作体験などが行われました。今年は、市社会福祉協議会迫支部によるハンドマッサージ体験とカフェも実施され、大勢の人たちでにぎわいました。お昼には、婦人会の皆さんが公民館の玄関前で餅つきを披露。出来たての餅を来場者に振る舞いました。訪れた人たちは終始楽しい時間を過ごしていました。

そりやスキーで親睦図る

スポ少とキッズクラブが交流

豊里

市スポーツ少年団豊里支部と市教育委員会豊里教育事務所では2月21日、「そり遊び・スキー教室」を大崎市鳴子のオニコウベスキー場で実施しました。スポーツ少年団と、町内の子どもたちが自然体験やスポーツなどを通して交流する「ときめきキッズクラブ」の会員ら36人が参加しました。参加者は、そり遊びとスキーの班にそれぞれ分かれ、スキー班は指導員から一人一人丁寧に指導を受けていました。参加者は、時間がたつにつれ仲良くなり、スピードを競い合うなど楽しんでいました。



▲指導員から丁寧にスキーを教わる児童たち

好・珍プレーで熱戦展開

9人制バレーボール大会開催

登米

登米町バレーボール協会(武蔵寛亨会長)では2月22日、「登米町9人制総合バレーボール選手権大会」を登米総合体育館で開催しました。大会は、地域バレーボール技術の向上と普及、愛好者の親睦を図ることを目的に毎年開催していて、今年で39回目です。当日は、気の合う仲間たちで組んだチームなど計4チーム40人が参加しました。試合では、各チームとも好プレーや珍プレーを連発。熱戦が繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりました。結果は、「体脂BOW48」チームが3連覇を達成しました。



▲熱戦を繰り広げる選手たち。会場は大いに盛り上がりました

米山

米岡小5・6年生がたこ揚げ

手作りたこ、大空で舞う



▲児童たちは、広い田んぼの端から端まで全力で走り、たこを揚げました

米岡小学校(菅原純一校長)では2月26日、町内の田んぼでたこ揚げを実施。同小の5・6年生46人が参加しました。児童たちは、講師の鈴木卯一さんと長江誠さんの指導の下、文字や絵を描いて思い思いのたこを作りました。たこ作りが終わると、鈴木さんからうまく揚げるコツを教わり、たこ揚げに挑戦。この日は風が弱く走りながらでないとたこが揚がらず、児童たちは広い田んぼを全力で走っていました。最初はすぐに落ちてしまいうまく揚がりませんが、慣れてくると30分以上高く揚げている児童もいました。

東和

米川小3年生と大学生が交流

再会を喜びさらなる親睦



▲「楽しもう会」で「かごめかごめ」を楽しむ児童と大学生

3月13日、奈良大学の横山樹さんが米川小学校を訪問し、3年生13人と交流しました。横山さんが同小を訪問するのは今回で3度目となります。当日は、地域で受け継がれている黎明太鼓の体験、ゲームや合奏などで交流する「楽しもう会」を行いました。楽しもう会は児童自ら内容を計画し、飾り付けや司会も分担。「かごめかごめ」などのゲームを横山さんと楽しんだほか、練習を積んできた長縄8の字跳びや合奏の成果を披露しました。横山さんは「毎年来て、児童たちの成長を見守り、卒業式にも出席したい」と話していました。